

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は議長、議会選出監査委員を除く14名の委員で構成。

(9月14日、15日、19日、20日、21日開催)

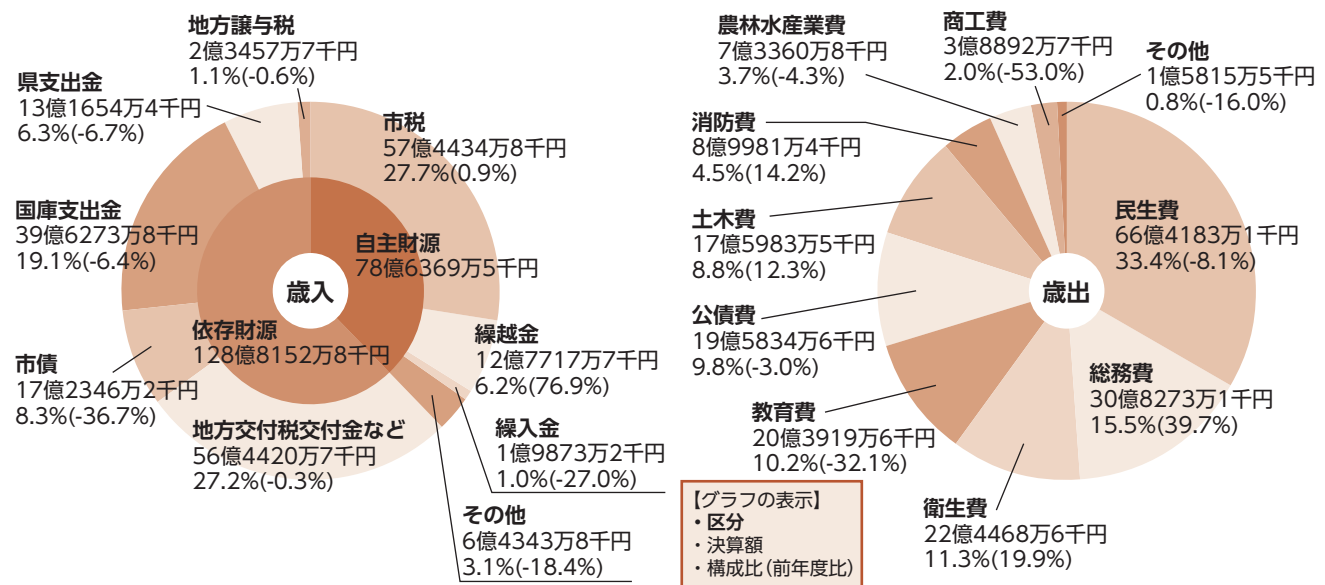
○委員会付託案件の審査

各決算議案の審査は決算審査特別委員会に付託し、一般会計、特別会計、公営企業会計のそれぞれの決算の認定を審査いたしました。

一般会計決算の内訳 (カッコ内は前年度比)

【歳入総額】 207億4522万3千円 (-4.6%)

【歳出総額】 199億712万9千円 (-2.7%)



特別会計決算の内訳 (カッコ内は前年度比)

【歳入総額】 89億9570万円 (1.5%)

【歳出総額】 88億7170万2千円 (2.8%)

	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	43億4388万5千円 (1.6%)	43億1134万9千円 (3.6%)
後期高齢者医療特別会計	9億8901万9千円 (6.9%)	9億7776万9千円 (7.6%)
介護保険特別会計	36億6279万6千円 (0.2%)	35億8258万5千円 (0.7%)

公営企業会計決算の内訳 (カッコ内は前年度比)

	収入	支出
水道事業会計収益的収支	9億8861万8千円 (1.4%)	9億4838万7千円 (4.2%)
水道事業会計資本的収支	3億5810万円 (77.7%)	6億3907万5千円 (2.0%)
下水道事業会計収益的収支	12億9812万3千円 (-7.1%)	12億7901万9千円 (-4.8%)
下水道事業会計資本的収支	6億4792万8千円 (20.5%)	9億1526万8千円 (9.4%)

※収益的収支、資本的収支共に税抜き表示となっております。

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は過年度分損益勘定留保資金で補填しました。

○審査内容（主な質疑を抜粋）

Q 公立保育所の今後をどのように計画しているのか。

A 第一保育所については、令和7年3月31日で閉鎖し、子育て政策対応の別機能を持たせることを考えております。やまゆり保育所とわかぐり保育所は民営化に向けた検討を進めていきたいと考えております。

Q ひとり暮らし高齢者のための緊急通報システムの普及率が低い状況だが。

A 民生委員による訪問の際、緊急通報システムのことを勧めておりますが、本人がまだ大丈夫という場合が多いと聞いております。抜かりのないサービス提供のため、周知方法等を検討してまいります。



▲緊急通報システム

Q わくわく茨城生活実現事業と結婚新生活支援事業、移住促進住宅取得支援補助金の実績は。

A わくわく茨城生活実現事業は2世帯で3名、結婚生活支援事業は5夫婦で10名、移住促進住宅取得支援補助金は31世帯で87名に補助金を交付しており、合計100名の方に本市へ移住いただいております。

Q 住宅リフォーム助成制度については経済効果が高いので、有効な周知を行うため地元事業者の活用状況も調査分析すべきと思うが。

A ご指摘のとおり、地域経済を回すためには有効な事業と認識しております。引き続き、分析を続けてまいります。

Q 就労支援・企業情報発信サイト「ビズ・ワークかすみがうら」について、企業の登録状況は。

A 企業は自身や事業をPRするため自由に活用するもので、現在市内14社に登録いただいております。今後は、市内の企業の魅力向上として、市内小・中学校を対象にしたキャリア教育と結び付けた紹介なども行っていければと考えております。

Q 水道の給水について、東日本大震災時は霞ヶ浦地区から千代田地区へ送水した経緯があるが、送水体制は現在どうなっているのか。

A 東日本大震災後、その教訓を踏まえ、霞ヶ浦地区から千代田地区への送水管を敷設しております。現在、1日あたり2千～3千トンの水量を送水している状況です。